

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
編集：幸報ふじ事務局
（一般財団法人スマイルアース）
TEL：0952-57-2341
FAX：0952-57-2217
hoonoki@smile-e.org
住所：富士町藤瀬724-4

林業者の地位向上を目指して

栗並で林業をされている川原嘉信さんにお話を伺ってきました。



川原嘉信さん（藤瀬地区）
昭和26年8月9日生まれ

川原さんは、「ウッド・エコ産業」の代表。会社名の意味は、「森のこだま」あるいは「木の響き」。とっても詩的なお名前です。「北島三郎の『与作』が好きだから（笑）」だそうです。

主なお仕事は、山から木を切り出し、丸太にして市場に出すこと。道路やダム建設時の木の伐採。それから、植林。

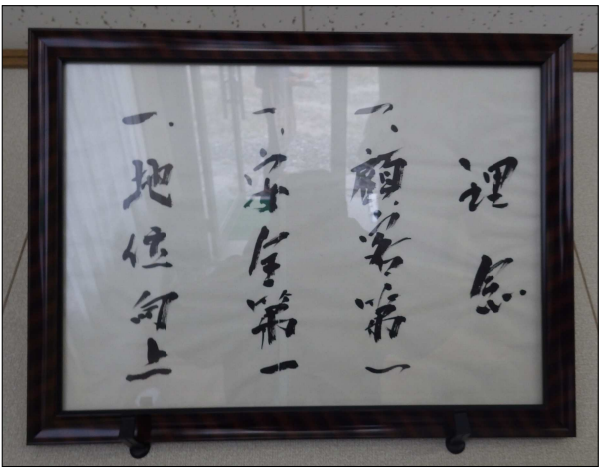
高校卒業後、家業の稲作・畜産（和牛の繁殖）に従事。結婚を機に旧佐賀市内に移りました。4年後に富士町へ戻った頃には、

減反などで農業が衰退してきたため、三瀬の運送会社に就職、トラック運転手に。お子さんが

大学を卒業したので退職し、自分の山林の手入れをしていたところ、いろいろなところから声がかかるようになりました。森林組合の請負班に登録し、どんな仕事が増えていきます。会社設立から、13年ほどで従業員19人の会社になりました。毎年、一人ずつくらい増えているそうです。

会社の理念は、「顧客第一、安全第一、地位向上」。中でも、林業従事者の「地位向上」に関しては、川原さんの思い入れが深く、大変熱く語ってくださいました。

「ヨーロッパでは、木こりはとても尊敬されているのに、日



本の林業は、3K（きつい、汚い、危険）の仕事と思われるている。日本の木こりのイメージを変えたい！」

森に入ってひたすらに木を切る「木こり」の仕事は孤独な仕事だ、と川原さん。森の中で、ひとり、もくもくと働く。だから、街の騒々しさや社会に組み込まれることを嫌う若者が、川原さんのもとに集まってくるのだそう。そういう若者は、社会の中で訓練を受けていないために常識やマナーがまだ身に付いていなかったり、人と触れ合うことが苦手な傾向があって、一

から教えてあげる必要がある。林業者の地位向上のためには、まず、自分たちの行動を律していかなければならない、と川原さんは考えています。

川原さんの所属する「富士町林業研究会」もまた、林業にたずさわる人の地位向上を目指して活動しています。林業研究会は、50年ほどの歴史があり、杉の植樹が奨励された時代に「木の育て方を学ぶ」ところから始まりました。研究会では、会員に積極的に講演会、勉強会に参加させることにより、質の高い人材の育成に努めています。

「世界自然遺産の森を実際に見よう！」ということで、屋久島や白神山地を訪れる取り組みもあるそうです。

「『森を見たからって、本当

晴好雨奇

木原昭芳

元旦や小鳥が小鳥つれて来る

穏やかな正月の山暮らし。

に勉強になるのか？」と思うかもしれないけど、見た者にしかわからない何かがある」

実際、そういった講演会や研修会に参加した人たちは、すぐにではなくても必ず変わってくる、少しずつ成長してくる、といます。



出荷できない、Dランクの丸太です。

ヨーロッパの「森林官」や「森林マイスター」といった資格をモデルにして、3年前に、日本でも「森林施業プランナー」という資格ができました。その「森林施業プランナー」、佐賀県第一号が、川原さんの息子さんだそうですよ！

川原さんに林業の魅力を聞いてみました。

「手入れをしつかりすればするほど、森林はきれいになる。きれいになった森を見ると、気持ちがいい。そして、5年後、10年後も楽しみになる」

それを聞いて、以前本で読んだ、オーストリアの「森林マイスター」を育成する研修所を思い出しました。その研修所では、手入れをせずに放置し続けた区画と、間伐などによって人の手を入れ続けた区画を用意し、生徒たちに見比べさせることによつて、健康な森林がいかに美しく、木もまっすぐに育つかということを実感させます。そうすることによって、林業は短期の利益を追求するのではなく、持続可能な豊かさを追求しなければならぬという理念を、生徒たちに教えるのだということでした。

まさに、川原さんがおっしゃっていることそのもの！

川原さんの願いは、自分の会社を卒業した人たちが、独立して、いろんなところで活躍してくれること。川原さんのもとで学んだ人たちは、きっと、高い意識を持って、林業者の地位向上に貢献し、日本の林業を支えてくれるようになるでしょう。期待しています！！

（記事 恵良五月）

みなさんご存知ですか？

九郎堂の由来（古湯）

古湯の淀姫神社境内に九郎堂がある。九郎堂は古湯の天河（字姥ヶ谷）に建立してあったが、明治9年（一八七六）の神社合祀に際し現在地に移転したものである。

延元元年（一三三六）、後醍醐天皇を擁した肥後（熊本県）の菊池武敏、阿蘇大宮司惟直とその弟九郎惟成らは、筑前多々良浜（福岡市東区）に足利尊氏の軍勢を迎え撃ったが、戦い利あらず、敗れて、小城の千葉氏の領内へと逃れた。しかし寝返った千葉氏によって惟直は、白坂峠（小城、富士町の町境峠）にて戦死をした。九郎惟成も重傷を負ったが家臣の原隼人に背負われ、命からがら古湯に逃げ隠れた。惟成の傷は古湯温泉の湯で回復し、この地に九郎堂を建立して永住したと伝えられる。原隼人の子孫と伝えられる古湯地区の原姓の人達により九郎神社の碑の前で九郎さん祭りが行われていた。

出典：富士町史下628頁



新春みんなで歩こう会

2017年1月15日

日曜日

受付 午前 9:30

出発 午前10:00



北山校周辺 約7km。

歩きやすい服装で水筒、タオル等を持参下さい。

雨天の場合は中止します。中止の場合は、当日午前7時30分に防災無線で放送します。

●問合せ先 体育協会事務局（富士公民館）58-2882

温泉病院だより 後発医薬品 「ジェネリック医薬品」について

初めまして、富士大和温泉病院に勤務する薬剤師の岩松と申します。

今回は、国や自治体等が力を入れている後発医薬品（ジェネリック医薬品）について一言。

医薬品には同成分・同一含量で同等の効果が期待できる後発医薬品が多数発売されており、医療費の削減・患者様の自己負担軽減のためにこれらの使用が推奨されています。

また、院外処方箋に『後発薬への変更不可』の記載がなければ、患者様が調剤薬局で後発医薬品へ変更することも可能です。

しかし、後発医薬品は外觀（色・形・大きさ等）が先発医薬品とそっくりなものと、同成分同効果があるとは信じられないくらい全く異なるものがあります。

薬を受け取られる際は、使用にあたっての疑問や不安などを気軽に相談できるように、ぜひ『かかりつけ薬局』を決めて頂ければと思います。

佐賀市立富士大和温泉病院
63-0111
ホームページ <http://www.hospitalfj.saga.jp/>



薬剤師
岩松 由子

ふれあいるーむ 12・1月の予定

おばあちゃんまで誰でも使える場所です。季節に合わせて、ミニコンサート・食育講座・おはなし会・バス遠足など、楽しい催しがいっぱい。たくさんの出会いを大切に、みんなのふれあいの場所、それがふれあいるーむです。 ※ 問い合わせ先：佐賀市社会福祉協議会 富士支所 TEL 58-2311

★ 12月の予定 ★

- 2日（金）かふえタイム（Book Cafe -100円/コーヒーお代わり自由-）
- 7日（水）ぐんぐんキッズ（ねんどでオーナメントを作ろう）
- 9日（金）ぐんぐんキッズ（手作りフォトスタジオ）
- 13日（火）のびのびタイム（リズムダンス）
- 16日（金）ぐんぐんキッズ（クリスマス会・クッキング・コンサート 参加費500円）
- 21日（水）わらべうたサロン（タッチケア&アルバム作り）
- 27日（火）ぐんぐんキッズ（ナチュラル洗剤で大そうじ）

★ 1月の予定 ★

- 6日（金）ぐんぐんキッズ（クッキング -七草粥を食べよう 参加費300円）
- 10日（火）のびのびタイム（リズムダンス）
- 11日（水）ぐんぐんキッズ（書き初め）
- 13日（金）ぐんぐんキッズ（ダンボール・ガムテープアート）
- 18日（水）わらべうたサロン（タッチケア&アルバム作り・乳幼児健康相談）
- 20日（金）ぐんぐんキッズ（フェルトおもちゃを作ろう）
- 24日（火）かふえタイム（まったり Cafe -100円/コーヒーお代わり自由-）
- 27日（金）ぐんぐんキッズ（鬼のお面を作ろう）

釜 富士町の民話 第二話 釜 どじょう汁とどじょう酒 （勘右衛門話）

むかし、むかし。

勘右衛門（かんね）さんて言う、こう悪知恵の働く男のおらしたて。

いつじやい、村の若か者の集って、「今日はどじょうばほって来て、晩みんなして、どじょう鍋どんして食おうやつか」

「うん、そりゃあよか。そいばってんが、勘右衛門に言うぎんと、あいがわやくどんばかいして、どうろこうろすっけん教ゆんみゃい」て言うて、話しよったとば、こっそらーと物陰から聞きよったて。

そしてその晩、若か者のみんな集って、どじょう鍋ばしゅうでしよったて。そいぎ、勘右衛門がそこさい来て、戸ばドンドンドンて叩ちやあて、

「勘右衛門ばってんが、ちよつと戸ば開けてくいやい。あさん達のどじょう鍋ばすって聞いたもんじゃ、豆腐ば買うて持って来たけんが、おいもいっちょ仲間に入れてくいろ」て言うたて。そいぎ若か者達は、「どがんすつかい。ただないかちゅうごとなかばってん、勘右衛門が豆腐まで買うて来て、あやん言いよっもんじゃしかたなか、かててやろうやつか」て言うて、勘右衛門ば入れてやったて。

そいてから、鍋ん中に豆腐とどじょうば入れて煮よったて。そいぎ、だんだん湯のたぎって来たもんじゃ、どじょうの熱しあ、すっぱい豆腐ん中にもぐってしもうたて。勘右衛門はそいば見はかろうて、「ありゃあ。おりゃあ大事か用事のあったとば、ちい忘れとった。すぐ行か

んばなんけんが、おいが持って来た豆腐は貰うて帰っけん」て言うて、鍋ん中から豆腐ばすっぱい上げて持って帰ったて。

そいからいっときして、若か者達の、「もう、どじょうも煮えとろうやつか。いっちょ食うてみゆい」て言うて、鍋ば開けたぎんと、鍋ん中は一びきでんどじょうの入つとらんやったて。

そいば見た若か者達は、「こんつきしよ、また勘右衛門にだまされたばい。ほんなごてはがいさ」そんない、今から勘右衛門方さい行たてみゆうじやつか」「そりゃあよか、そいばってんが、やっぱい手ぶらじゃ行かんばい。酒ば一升ばかい、かんばつけて持って行こうだい」て言うて、酒ば一升さげて勘右衛門方さい行ったて。

そして、若か者達の、「勘右衛門、わがの忙しかて言うもんじゃ、わがん方で吞もうで思うて、酒んかんば付けて持って来たじゃ」て言うたて。そいば聞いた勘右衛門は、おかさんに、こつそいと、「おかやん、おとなな腹の痛うないやい」て耳打ちしたて。

いっときして、おかさんの、「アイタタ、アイタタ・・・」て言うて、腹ん痛か振りばさしたもんじゃ、勘右衛門もビックイしたごとして、「おかやん、どがんしたかん、腹ん痛かてや、そんない早う腹ば温めんばいかん」て言うて、若か者達の持つて来た、かんのついたとっくい酒ば、おかさんの腹ん中に押し込んでしもうたて。そして、「ほんに気の毒かばってん、おかやんのこがん腹の痛しやあしよらすけん、今日はかえってくいやい」て言うたもんじゃ、若か者達も、「おかさんの病気な

いば仕方なかい」て言うて、しぶしぶ帰ったて。

そがんこつで勘右衛門は、どじょうと酒ば若か者達からまんまとまきあげてしもうたて。

合瀬 嘉村留三郎
（当時六十才）

麻那古 嘉村秀一
（当時七十才）

出典 富士町の民話34頁

佐賀市消防団員募集



消防団は、地域住民で構成され、「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと地域防災力の中核として、地域に密着した活動を展開しています。

消防団員の身分は？

消防団員の身分は、非常勤（特別職）の地方公務員です。

私も入団できるかな？

佐賀市に居住または勤務している18歳以上、満60歳以下の健康な人であれば、男女どなたでも入団することができます。

問合せ先

佐賀市富士支所
総務・地域振興グループ

58-2111

イベント情報

◆成人式（佐賀市）1月8日

◆新春みんなで歩こう会（体育協会）1月15日

◆佐賀市校区対抗伝大会（体育協会）1月22日

12・1月の行事予定

12月

◆白山神社 秋祭り（関屋）

◆大根祭り 淀姫神社（古湯）

◆一の宮祭（上無津呂）

◆新嘗祭 春日神社（中原）

◆権現さん祭（大串）

◆七郎さん祭（大串）

◆初穂祭り 七郎神社（内野）

◆佐賀市消防団 年末警戒

1月

◆佐賀市消防団 出初め式

◆文化財防火デー「吉村家火災想定訓練」

◆もぐら打ち（麻那古・大串）

◆フクイニャー「福荷い・オプニャイニャー」（東・西高野岳）

◆正月祭り「鬼払い・百矢的」

◆諏訪神社（市川）

◆正月祭り「的射り」白石神社（杉山）

※行事につきましては順不同、日程の変更があります。ご了承ください。

みんなの声

皆さんからのお声をお待ちします。掲載できるものであれば、どんどん載せていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

幸報ふじ事務局

次号『幸報ふじ』は
1月下旬の発行予定です。

『幸報ふじ』は、インターネットでも閲覧・ダウンロードができます。
ウェブサイト <http://www.smb-f-journal.org/kohoufuj.html> に掲載しています。